

令和5年度第2回成田市環境審議会 会議録

1 日 時 令和5年8月2日(水)13時30分～14時30分

2 場 所 成田市役所 議会棟3階 第一委員会室

3 出席者

(委員)

本橋 敬之助会長、片岡 孝治副会長、富井 柁夫委員、藤村 葉子委員、岩館  
和彦委員、村島 義則委員、木村 容子委員、須田 恭子委員、根本 祥宏委  
員、菅澤 麗子委員、田中 昌子委員、入江 龍夫委員、中山 明子委員、江口  
洋委員

(成田市)

環境部 岩沢部長

(事務局)

環境計画課：稲阪課長、加藤課長補佐、栗田主幹、清水係長、中里主査、黒川主  
事

(説明員)

環境対策課：塚本課長、櫻井係長、関口係長

クリーン推進課：小川課長、山倉係長

環境衛生課：高橋課長、大里主幹、諸徳寺係長

4 傍聴者3名

5 会議次第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 2022(令和4)年度 成田市環境基本計画年次報告書について

(2) 2022(令和4)年度 成田市一般廃棄物処理基本計画年次報告書について

(3) 成田市の環境 2022(令和4)年度版について

3. 閉 会

【環境計画課 加藤課長補佐】

定刻になりましたので、これより、「令和5年度第2回成田市環境審議会」を始めさせていただきます。

委員の皆様、本日は、ご多忙中のところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。本日は環境計画課の私、加藤が司会進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

はじめに、お手元の資料の確認をお願いいたします。まず、令和5年度第2回成田市環境審議会の会議次第。こちらの会議次第の裏面には配布資料一覧がございますので、併せてご覧ください。続きまして、成田市環境審議会委員名簿・席次表。続きまして2022(令和4)年度成田市一般廃棄物処理基本計画年次報告書の差替えページ。こちらは冊子となっている年次報告書を皆様のご意見により修正した部分を、差し替えるページのみを印刷したものです。続きまして、5月に送付いたしました、成田市の環境2022(令和4)年版。続きまして、前回審議会で配布しましたものが2点ございまして、2022(令和4)年度成田市環境基本計画年次報告書と2022(令和4)年度成田市一般廃棄物処理基本計画年次報告書。それから先週発送いたしましたものが2点、環境審議会委員からの意見及び回答、2022(令和4)年度成田市一般廃棄物処理基本計画年次報告書の修正部分抜粋。

本日の資料は以上となります。不足などがございましたらお申し出いただければと存じます。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

また、本日はこのほかに、これまで皆様にご審議いただきまいました環境基本計画中間見直し、及びエコオフィスアクションを配布してございますので、ご確認をいただければと存じます。

次に、本日の審議会は、委員18名のうち14名がご出席され、過半数を超えておりますので、審議会設置条例第5条第2項の規定により、会議は成立することをご報告いたします。

それでは続きまして、岩沢環境部長よりご挨拶を申し上げます。

【岩沢環境部長】

はい。環境部長の岩沢でございます。委員の皆様におかれましては、本日はご多忙の

ところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

ただいま司会からご案内ございましたように、本日はお手元のほうに成田市環境基本計画中間見直しと成田市役所エコオフィスアクションを配付いたしました。両計画とも、委員の皆様の長期間にわたるご審議を経てようやく完成させることができたものがございます。審議におきましては委員の皆様から多数のご意見・ご質問や修正のご提案などを頂戴したことで、わかりやすく、市民感覚も反映した計画になったのではないかと我々も考えているところでございます。委員の皆様のご協力に対しまして改めて厚く御礼を申し上げます。

さて、本日の議題は、成田市環境基本計画及び成田市一般廃棄物処理基本計画の年次報告と、成田市の環境2022年度版についてであります。忌憚のないご意見を頂戴できればと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

**【環境計画課 加藤課長補佐】**

それでは議事に先立ちまして、ご案内を申し上げます。本審議会の会議は、原則公開となります。本日は、傍聴希望者がいらっしゃいますので、これから入室していただきます。

(傍聴者入室)

なお、会議中に傍聴希望者が来場された場合には、途中から傍聴して頂くことといたしますのでご承知おきいただければと存じます。

傍聴の方に申し上げます。会議の傍聴要領を遵守いただき、お静かに傍聴をお願いいたします。

では、これより議事に入っております。議長は、成田市環境審議会設置条例第5条第1項の規定により、会長をお願いすることとなっております。

本橋会長、議事進行方、よろしくお願いいたします。

**【本橋会長】**

はい。それではこれから、議事を進行したいと思います。先ほど司会からもあったように傍聴者の皆様は傍聴の要領を十分に遵守して静かに傍聴をお願いします。

では、審議に入りたいと思います。

はじめに、議題(1)の2022年度成田市環境基本計画年次報告書についてであります。この報告資料については委員の皆様には、事前に資料を読んでいただき、ご意見、ご質問を提出していただいたところでございます。それに対する事務局の回答についても事前に送付されていることと思います。

もし、事務局から更に補足説明。また、回答に対して何か付け加えることがありましたら、簡潔に説明のほどよろしくお願ひいたします。では、事務局お願ひいたします。

【環境計画課 中里主査】

はい、議長。

【本橋会長】

はい、どうぞ。

【環境計画課 中里主査】

では、2022(令和4)年度成田市環境基本計画年次報告書について説明いたします。改めまして、環境計画課中里と申します。どうぞよろしくお願ひします。恐縮ですが着座にてご説明させていただきます。

はじめに、今回の年次報告書については、中間見直し前の内容での最後の年次報告書となりますので、ご承知おきくださいますよう、お願ひいたします。

それでは、まず、年次報告書の1ページをお開きください。

1ページから6ページにつきましては環境基本計画の概要部分となっております。恐れ入りますが、概要部分についての説明は割愛させていただきます。

次に、7ページをお開きください。ここからは計画の進捗状況となります。

事前に資料を送付し、質問と回答についても配付させていただいておりますので、ここから要点を絞って説明させていただきます。

8ページをご覧ください。環境基本計画の重点プロジェクトについて、まず重点プロジェクトI 生き物・里地里山のふれあいづくりの状況から説明させていただきます。

上段にあるプロジェクト推進目標・指標等の部分をご覧ください。上から3段目の生き物・里地里山のふれあい拠点の選定につきましては、関係課等との協議を進め、坂田

ヶ池総合公園を令和5年1月に生き物・里地里山ふれあい拠点として選定しました。今後につきましては、ふれあい拠点としての活用を進め、自然観察会の開催などの取り組みをさらに推進してまいりたいと考えております。

少し飛びまして次に、14 ページをお開きください。重点プロジェクトⅡ エコライフによる低炭素なまちづくりでございます。

こちらにつきましては、本日皆様に配付させていただいておりますが、先日、環境基本計画の中間見直しが策定・公表され、ゼロカーボンシティ実現に向け、二酸化炭素排出量の削減目標が大きく引き上げられているところではあります。計画見直し前の令和4年度の年次報告としてご説明申し上げます。

上段のプロジェクト推進目標・指標等の部分をご覧ください。表の1段目の項目、エネルギー起源の温室効果ガス排出量につきましては、直近の2019(令和元)年度の市域におけるCO<sub>2</sub>排出量は183万8千トンCO<sub>2</sub>となっており、基準年度比で10.3パーセント減少しております。

環境基本計画の見直しにおいては、削減目標の数値を16パーセントから46パーセントへと大きく引き上げておりますので、今後につきましては、高い目標の達成に向けて、太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用の推進や省エネルギーの取り組みなどをさらに進めるとともに、本市の実情に合った有効な取り組みを進め、市域の脱炭素化を推進してまいりたいと考えております。

2段目の小中学校の太陽光発電整備率につきましては、令和4年度は平成小学校で太陽光発電システムを整備し、16校に整備済となりました。整備率は55.2パーセントへと増加しております。今後も、太陽光発電システムについて公共施設への設置を推進してまいります。

3段目の成田市地球環境保全協定への参加事業所数につきましては、令和4年度末の事業所数としまして、7事業所増加し、193事業所となり、達成率としましては前年度より2パーセント上昇しまして64.0パーセントとなりました。今後につきましても、広報なりたや市ホームページなどを通じて締結事業者を増やし、市内の事業者の環境意識の向上に努めてまいります。

4段目の成田市環境保全率先実行計画によるCO<sub>2</sub>排出削減につきましては、現在市役所の各施設のエネルギー使用量データなどの取りまとめをしておりますので、結果に

つきましては、次回の環境審議会にてご報告させていただく予定でございます。

次に、25ページをお開きください。重点プロジェクトⅢ 3Rによる循環型まちづくりの取組状況を記載してございます。こちらの内容につきましては議題(2)の2022(令和4)年度成田市一般廃棄物処理基本計画年次報告書において報告させていただきますので割愛させていただきます。

次に、32ページをお開きください。重点プロジェクトⅣ 環境交流のまちづくりの取組状況を記載してございます。上段の表のプロジェクト推進目標・指標等の部分をご覧ください。1段目の「なりた環境ネットワーク団体数」につきましては、1団体増加しまして70団体となり、達成率は86パーセントです。今後も、引き続き公共施設などに会員募集のポスターを掲示するなど周知に努め、新たな会員の加入に結びつくよう取り組んでまいります。2段目の環境会議等国際交流の推進につきましては、外国人向けにごみの分け方・出し方のパンフレットについて新たにシンハラ語、ネパール語、ベトナム語の3言語版を追加しました。

最後に本年次報告書につきましては、庁内における環境管理委員会による施策の評価を実施した後、市のホームページで公表する予定でございます。

以上、大変雑駁ではございますが、2022(令和4)年度成田市環境基本計画年次報告書、についてのご説明とさせていただきます。以上でございます。

#### 【本橋会長】

はい、ありがとうございます。

ただいまの事務局からの説明に対して、何かさらに質問がありましたら、挙手してお願いいたします。

私の方からちょっとお聞きしたいのですが、先ほどの14ページのところで、成田市環境保全率先実行計画によるCO<sub>2</sub>の削減対策のところで、令和4年度については令和5年度秋ごろに算出予定でございますね。それで今の委員の方々は、今年の10月で終わりですよ。

そうすると、今の委員の方に対しては、どういう形で算出した結果を知らしめる。広報する予定でしょうか。はい、どうぞ。

【環境計画課 栗田主幹】

エコオフィスアクションの取組結果につきましては、毎年、秋ごろに公表しております。主にホームページで公開するという形で考えております。委員の皆様個別に報告するということにつきまして、差し支えなければ、また委員の皆様にもお送りしたいと思っております。以上でございます。

【本橋会長】

はい、ありがとうございます。

あともう一つ、32 ページのところですね、環境会議等国際交流の推進に対して、外国人向けにパンフレット作ったという形ですけど、どうですか、その効果は。現れていますか。

はい、どうぞ。

【クリーン推進課 小川課長】

はい、本市には様々な外国人の方がいらっしゃいまして、ニーズの方が多様化されています。事業者の方、例えば不動産の管理会社とか、事業者の方からの求めに応じて、こちらから提供したりそういった方に、周知を図る上でのものとなっておりますので、効果の方は一定の効果はあったと考えております。

【本橋会長】

はい、ありがとうございました。

他に何かございませんでしょうか。はい、どうぞ。

【片岡副会長】

ちょっと気がついたんですけど、8 ページの生き物里地里山ふれあい拠点の選定で、坂田ヶ池、こちらの方、1 拠点選定されましたけども、今後ですね、増やしていく予定はあるかどうか、お伺いしたいんですけど。

【本橋会長】

はい、事務局。

【環境計画課 栗田主幹】

はい、現在のところ、坂田ヶ池を選んだばかりで、次の拠点というのはまだ未定ではありますが、もし適切な場所が見つかりましたら、指定について検討してまいりたいと考えております。以上です。

【本橋会長】

はい、他に何かございませんでしょうか。

【本橋会長】

もしないようでしたら、議題(2)に移りたいと思います。議題(2)の2022年度成田市一般廃棄物処理基本計画年次報告書についてでございます。事務局からさらに何か補足資料がありましたら、また説明がありましたら要点に限って簡潔にお願いします。

はい、どうぞ。

【環境計画課 清水係長】

環境計画課清水と申します。着座にて失礼いたします。

それでは、議題(2)2022(令和4)年度成田市一般廃棄物処理基本計画年次報告書について、ご説明させていただきます。

まず1ページをお開きください。こちらから3ページにかけては、計画の基本事項として、目的と位置付けなどを記載しております。また、片岡副会長よりご指摘のありました、廃棄物の区分につきまして、先週郵送させていただきました、別紙の年次報告書修正箇所のとおり、2ページに、図2-2として、新たに掲載しております。3ページには、計画の進行管理に関するPDCAサイクルのイメージ図を掲載しております。

次に、4ページから5ページまで、ごみ処理基本計画編として、数値目標や目標に対する実績を記載しております。

計画目標に対する、2022年、令和4年度の実績についてご説明いたします。ごみの総排出量は、目標5万600トンに対し、実績が4万8,507トンとなっております。1人1日あたりの総排出量は、目標1,017グラムに対し、実績が1,018グラム。1人1日あたりの家庭系ごみ排出量は、目標504グラムに対し、実績が547グラム。リサイクル率は目標21.1パーセントに対し、実績が18.1パーセント。最終処分率は目標6.6パー



セントに対し、実績が2.8パーセントとなっております。

1人1日あたりの総排出量及び家庭系ごみ排出量につきましては、計画目標を達成しておりません。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、家庭で過ごす時間が増えたことが要因だと考えております。

また、リサイクル率につきましても目標を達成しておりません。こちらは、溶融スラグの販売量が令和4年度末に一時的に減少したことが要因と考えております。販売ができなかった溶融スラグにつきましては、今年度、随時販売しております。

続きまして、6ページは取り組みごとの担当課の一覧となっております。

7ページから31ページまでは、計画の目標達成に向けた取組の内容や、実績、成果や評価、今後の課題や方針を記載しております。

江口委員より意見がございました10ページの買い物袋持参運動、マイボトル運動、マイ箸運動への協力について、マイ箸運動へのコメントがないということでしたが、取り組みの優良事例を事務所へ紹介するなど、周知啓発に努めることとしております。同じく、江口委員よりご指摘いただきました28ページの各種補助金の充実の実績等の記載については、先週郵送させていただきました、別紙の年次報告書修正箇所のとおり、各種支給実績過去3年分を掲載いたしました。

続きまして、32ページをご覧ください。ここからは、生活排水処理基本計画編となります。基本理念、基本方針、数値目標を記載しております。33ページでは、計画の目標に対する実績、取り組みごとの担当課を記載しております。

2022(令和4)年度の生活排水処理率の目標96.8パーセントに対し、実績は92.4パーセントとなっており、目標を下回っている状況ではございますが、徐々に上昇している傾向にございます。

34ページから38ページまでは、計画の目標達成に向けた取り組みの内容や実績、成果や評価、今後の課題や方針を記載しております。

江口委員によりお尋ねいただいている、36ページ、成田浄化センターの維持管理と施設整備の新施設建設の場所、運営会社につきましては、新施設は現施設を稼働させながら、同敷地に建設いたします。また、運転維持管理につきましては、本事業は、施設的设计、建設、15年間の運転管理を一括発注するDBO方式による発注方式を採用しており、建設請負者らの出資により設立する特別目的会社が運転維持管理を行うことと

なっております。

最後に、この年次報告書は、後日ホームページで公開させていただきます。

以上、雑駁ではございますが、2022(令和4)年度成田市一般廃棄物処理基本計画年次報告書の説明となります。

よろしく願いいたします。

**【本橋会長】**

ありがとうございました。

ただいまの説明に対して、何かご意見、ご質問がございましたら挙手してお願いいたします。

はい、どうぞ。

**【入江委員】**

以前にですね、シュレッダーごみについて質問したことがございまして、シュレッダーの紙をですね、リサイクルで出すときに紙の袋に入れないといけないという。確か、その時ですね、紙の袋だとなかなか入らないので、透明なビニール袋に入れて出すのはいかがかという質問をしましたが、それについては、引き取り業者さんとの協議が必要だというお話だったと思いますけれども、その後それはどうなったかをお答えできるのであればお答えいただきたいと思います。

**【本橋会長】**

はい、どうぞ。

**【クリーン推進課 小川課長】**

はい、現在は引き取り業者さんの方と調整できておりまして、ビニールでの回収の方はできるようになっております。

**【入江委員】**

すみません、ちょっと聞こえなかったんですが。

**【クリーン推進課 小川課長】**

ビニールに入れた状態での引き取りは可能ということになっております。

【入江委員】

そうですか、ありがとうございます。

【本橋会長】

はい、他に何か。他にありませんでしょうか。

【入江委員】

すみません、それは既に実施できるんですか。

【クリーン推進課 小川課長】

はい、現在も既に実施はしております。

【入江委員】

はい、ちょっとすみません、それはもう周知されていなかったんじゃないかと。何か広報か何かで周知されましたか。

【本橋会長】

はい、どうぞ。

【クリーン推進課 小川課長】

はい。すみません、周知のところが不足していたかと思imasるので、今後その点も広報等で周知してまいりたいと思imas。

【入江委員】

はい、助かります。

【本橋会長】

はい、他に何か。はい、どうぞ。

【中山委員】

すみません、些末なことで申し訳ないんですが、13 ページの写真についてですが、右側のところに馬車道と読めるので、これはナリタヤのリサイクルステーションの写真であることがわかってしまうので、なくなっちゃった店の写真を載せるのは、この年

度にはあるんですけども、違うステーションを探して写真を載せた方がよろしいかと思いますが、いかがでしょうか。

【本橋会長】

どうですか、事務局。はい、どうぞ。

【環境計画課 清水係長】

はい、こちら、先ほどご指摘のとおり、ナリタヤさんのところのステーションになっております。現在、ナリタヤさんが閉店ということで、現在使われていないという状況なので、こちらの写真についてはもう一度検討させていただきます。よろしく願いいたします。

【本橋会長】

はい、他に何か。

私の方からですね、7ページのところですけども、この中段のところですね、補助金額よりも件数がガクッと令和4年度で落ちておりますけれども、これはどうしてですか。はい、どうぞ。

【クリーン推進課 小川課長】

はい、令和2年度に急激に上がっております。こちらは、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、自宅にいる時間がおそらく長くなったため、自宅で出る生ごみの処理を自分のお宅で処理しようというところが増えたのかなと考えております。現在の76件につきましては、コロナ禍前の数字に戻ったようなイメージと考えております。

【本橋会長】

コロナのおかげですか。それ以外理由はないですか。

コロナはコロナで結構なんですけどね。でもちょっと腑に落ちないところがあるので、そういうことでアンサーはそれでいいでしょう。はい、わかりました。

【クリーン推進課 小川課長】

すみません。

【本橋会長】

はい、どうぞ。

【クリーン推進課 小川課長】

すみません、ちょっと補足で、こちらの処理器具につきましては、電気式というのをごさいますて、家庭での匂いが出なかったり、簡単に処理できるという点で、電気式の普及についてもあったのではないかと考えています。

【本橋会長】

はい、なるほど。はい、わかりました。

はい、ほかに何かございますでしょうか。

【本橋会長】

ないようでしたら次の議題(3)に移りたいと思います。議題(3)は、成田市の環境令和4年版について、事務局から何か補足することがありましたら、よろしくお願ひいたします。

はい、どうぞ。

【環境計画課 栗田主幹】

はい。それでは、成田市の環境、2022(令和4)年版につきまして、私栗田よりご説明いたします。着座にて説明させていただきます。よろしくお願ひいたします。

それでは、まず目次をご覧ください。

こちらの目次にあるとおり、成田市の環境は、第1部、総論と、第2部、各論、環境の現状と対策の2部構成となっております。1ページから20ページまでの第1部では、成田市の概要といたしまして、本市の位置や地形、地質、沿革、人口、産業、土地利用といった環境を考えるにあたり基礎となる要素、それから、本市の環境行政の体制、環境行政の推進といたしまして、成田市環境基本条例、条例に基づき策定いたしました成田市環境基本計画の役割や位置付け、計画の体系などについて記載してございます。

続きまして、第2部、21ページ以降の第2部におきましては、主に2012年度から2021年度までの10年間の本市の環境の概要を取りまとめております。

それでは、第2部につきましては、第1章の大気汚染と第2章の水質汚濁を取り上

げて説明いたしますので、21 ページをお開き願います。

まず、第 1 章、大気汚染についてでございますが、第 1 章では主に本市が設置しております大清水測定局と、幡谷測定局において測定いたしました大気環境の結果を掲載してございます。測定局の位置につきましては、図 2-1-1 に示すとおりでございます。県の測定局と市の測定局が記してございます。

令和 3 年度の測定結果といたしまして、光化学オキシダントについて説明いたしますので、32 ページ、33 ページをお開きください。なお、光化学オキシダントにつきましては、光化学スモッグの汚染状態を示す指標物質であります。33 ページの表 2-1-17 に、光化学オキシダントの濃度測定実績と環境基準との比較を示してございます。表 2-1-17、一番上の表でございます。表には×が並んでおりますが、記載のとおり、環境基準を満たしてはおりませんでした。なお、光化学オキシダントにつきましては、本市だけではなく全国的に厳しい状況となっております。県内では全ての測定局で環境基準を未達成、全国的にも基準を達成した測定局は、令和 3 年度の実績で 0.2 パーセントと、極めて低い水準とのことであります。また、令和 3 年度の成田地域における光化学スモッグ注意報の発令はありませんでした。

この章につきましては、他に二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、いわゆる SPM ですね、そういった項目につきまして示してございます。大清水、幡谷、両測定局におきましては、環境基準を満たしておりました。

続きまして、44 ページをお開きください。こちらからは第 2 章、水質汚濁となります。この章では、市内を流れる主要河川などの水質調査の結果を記載しております。

まず、生活環境の保全に関する環境基準、ここでは略して生活環境項目と記載しておりますが、こちらにつきまして 56 ページの表 2-2-4 をご覧ください。56 ページでございます。こちらの表には、生活環境項目の環境基準の達成状況を記載してございます。○が基準達成、×が達成していないということでございます。

令和 3 年度の測定結果といたしましては、汚れの程度を示す BOD や水に溶けている酸素を示す DO などの生活環境項目につきましては、基準を満たしていない河川や水路が見られました。

続きまして、水質項目のうち、人の健康の保護に関する環境基準、略しまして、健康項目につきまして、62 ページから 66 ページに記載してございます。62 ページ以降を

覧ください。ここにありますとおり、カドミウム、鉛、ヒ素、水銀、PCBなど、こういった健康項目につきましては、表を見るとわかるかと思うんですが、全地点、全項目で環境基準を満たしているという結果となりました。

第2部におきましては、この他に、第3章以降の各章で、騒音・振動、悪臭、地盤沈下、土壌汚染、ダイオキシン類、自然環境、廃棄物、地球温暖化対策につきまして、それぞれ記載しております。

また、後ろの方、151ページからは、その他といたしまして、この中には分類されない環境関連の事項につきまして、記載をしております。

以上、大変雑駁で恐縮でございますが、成田市の環境についての説明とさせていただきます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

**【本橋会長】**

ありがとうございました。ただいまの説明に対して、ご意見に対してご質問がございましたら、挙手してお願いします。

はい、どうぞ。

**【江口委員】**

立派な冊子を作っただけで最初の始めにという市長の写真の一番下なんですが、2023「年」が抜けちゃっているんですね。

**【環境計画課 栗田主幹】**

はい、承知いたしました。修正いたします。

**【本橋会長】**

はい、どうぞ。

**【中山委員】**

すいません、今、新聞で騒がれているPFASとかPFOSとか言われた部分については、調べたことがあるのかどうかをお伺いしたい。成田市においては大丈夫なのかどうかを知りたかったので、その項目がちょっとなかったように思うんですが、もし調べてあ

ったら教えていただければと思います。もし調べてなかったら調べるのかどうか教えていただけますか。

【本橋会長】

はい、事務局。

【環境対策課 塚本課長】

はい。ただいまのご質問につきまして、環境対策課の私塚本と申します。私の方からお答えさせていただきます。

作成にあたりましては令和4年度版ということで、調査については令和3年度の監視になっておりますので、現状のPFASについては取り入れて反映されてはおりません。以上です。

【中山委員】

すいません、ただ、令和5年度については、今、騒がれているようなこともありますので、調べていただけるのか教えていただけますか。

【本橋会長】

はい、事務局。

【環境対策課 塚本課長】

はい。今年度はまだ着手しておりませんので、今いただいた意見も参考にしながら、なるべく取り入れていく方向で調整していきたいというふうに考えております。以上です。

【中山委員】

ありがとうございます。もう一つよろしいでしょうか。

56ページの2-2-4の表のことですけれども、大腸菌群がかなり検出されていて、私、前にも質問していると思いますが、上流域に牧場があるようなことがあるというふうな回答で、なんか濁されたような感じだったんですけれども。この川全体の上流にその生き物、牧場があるような状況にあるとは思えないのですが、全部にですね。例えば、川の名前が違う、本流があれば流れてくるのかもしれないんですけど、全然違う川で、



かなり大腸菌群が検出されていて、環境基準を超えていますし、環境基準を超えている数値がかなり高いと私は思うんですが、その調査をしてきちんと指導をするということをこの先考えていただけるのかどうか、そこが知りたいんですけども、特に、昔、カイワレ大根大騒ぎになった0-157（オーイチゴナナ）ですね、今、0-157でないものもいろいろ出てきていて、コロナもそうですけど、どんどん、菌の方は未知の菌が出てきて、いろいろあるので、できるだけ菌群に関しては、特に大腸菌は変身というか、当然変異が多いので、調べることを積極的にやっていただいて、排除できる、環境基準に近づける努力をしてもらうという姿勢を市の方に持っていただきたいなという希望がありますので、ぜひ、ここ調査をしていただいて、少しでも下げていく努力を、原因を見つけて、原因から排除できるような、政策を取っていただければ嬉しいなと思いますので、よろしくお願ひしたいんですが、どうでしょうか。

【本橋会長】

はい、どうぞ事務局。

【環境対策課 塚本課長】

はい、ただいまご指摘がありました、大腸菌群数につきましては、毎年特に宝田小橋、小橋川が過去の環境審議会の委員の皆さまからも、大腸菌群数の環境基準が達成できていないということでご指摘を受けておりましたので、今年度、職員が直接現地に行つてパックテストという、簡易的なキットでまず調査をするということで、今年度、下見の調査を開始しました。この宝田小橋以外にも、今おっしゃられたように、大腸菌は、そもそも河川には存在していません。動物とか人間の人糞といわゆる糞害ですね、そういったものが直接入り込むことによって起こるものというところが分かってきましたので、調査地点から、例えばどのくらいの距離に、そういった牧場、あるいは農地が多くて肥料、施肥といわれるものが、搬入しやすい地形ではないか、そういったことの、調査地点の周りの土地利用について、まず把握して、どこまで究明できるか分かりませんが、今、ご指摘いただいたとおり、環境基準になるべく近づけるような、まずは原因の探求から入っていこうということで、今年度、取り組む予定でおりますので、また、ご機会のあるところで、ご報告ができるかなと思いますのでご理解いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

【中山委員】

ぜひ、よろしくお願ひしたいと思います。

【本橋会長】

今、事務局のほうからですね、土地利用の問題が出ましたけどね、はっきり分かっていることは、この大腸菌のものというのはね、糞尿、それから動物ですよ。畜舎。だから、一番手っ取り早い話が土地利用じゃなくてね、例えばこれらの河川の流域における、例えば生活排水の処理形態。下水道なのか、浄化槽なのか。浄化槽も、し尿だけのとか、それとも生活排水を全部含めて合併なのか。そこら辺をね、しっかりと掴んだほうがむしろいいんじゃないかなと。土地利用で例えば農業用地が多いとかね、住宅地が多いとかいうよりも、むしろ処理形態を調査したほうが、むしろはっきりしてくるんじゃないかなという感じがします。それは考慮してください。はい。

【環境対策課 塚本課長】

はい、ありがとうございます。今、会長からご指摘いただきましたとおり、まずは下水道。基本的に下水道の汚水は、直接下水道管を通して、千葉市の花見川区のほうに圧送していますので、きちんと下水道の処理施設が整っていれば、そこから糞尿が漏れるということはないというふうにまずは断定していますので、その辺は下水道課と連絡を調整しながら今、ちょうど調べたところでございます。今後、例えば、単独槽から合併浄化槽への転換についてや農業集落排水への接続、これらも別のセクションになりますけれども、環境対策課のみならず、関係課と交えながら、その辺は把握できるように進めてまいりたいと考えています。以上でございます。

【本橋会長】

はい、どうぞ。

【藤村委員】

ただいま土地利用というお話もありましたけれども、特に土地利用は調べてくださるならそれで私はいいかと思うんですけれども、この宝田小橋ですか、非常に高いところの水質項目を見ますと、窒素も高いので、先ほど牧場とかお話もありましたけれども、もしかして畜産の排泄物を肥料という形として畑の中に埋めているような場所が流域

にあったとすると、このような水質になるかもしれないということをちょっとふと思ったので、そういった箇所の発見とかは、していただけるとありがたいなと思います。よろしくをお願いします。

【本橋会長】

はい。どうぞ。

【環境対策課 塚本課長】

いただきましたご意見も踏まえまして、そのような観点からも調査できるように努力してまいりたいと考えております。以上です。

【本橋会長】

努力します。ということですが、ここの水質の問題というのは、昨日今日始まったことじゃないんですよね。前々からなんですね。だから是非とも、力を入れてほしいなと、そう思います。いいですか。はい。

【環境対策課 塚本課長】

はい。まさにこの水質、環境に関するものは水質だけではないですけども、環境基準を満たしていない要因を把握するには、これまで培ってきたものが長年いろんな要因があって、環境基準を超えられないというようなものがさまざまあろうかと思っておりますので、少しずつできることから、捉えてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

【本橋会長】

はい。私の方からもう1点ですね。

45 ページ、目くじら立てるほどの話ではないですけども、45 ページの図の2-2-1を見ると、令和3年度のところ見ると生活排水の処理率が91.9パーセントと若干上がってますよね。2年に比べて。それで、生活排水の処理負荷がですね、やっぱり減ってますよね。にもかかわらず、どうして生活排水の処理汚濁負荷がね、令和2年度に比べて3年度上がったのか、それちょっと聞きたかったです。まさかコロナの話じゃないですよね、どうですか。はい。

【環境計画課 栗田主幹】

はい。ここの数値を計算した時の資料が今手元にございませんで、改めて調べて皆様にお知らせしたいと思います。よろしいでしょうか。

【本橋会長】

はい、わかりました。結構ですよ。

【環境計画課 栗田主幹】

はい。ではそのようにいたします。

【本橋会長】

はい。他に何かございますでしょうか。

【本橋会長】

もしないようでしたら、ちょっと時間も早めですけれども、今日の議事を終了させていただきたいと思います。どうもありがとうございました。ではマイクを事務局にお返しします。

【環境計画課 加藤課長補佐】

はい。本橋会長におかれましては、議長の大役をお務めいただきありがとうございます。また、委員の皆様、長時間にわたるご審議ありがとうございました。

それでは改めてここで、岩沢環境部長より皆様にご挨拶を申し上げます。

【岩沢環境部長】

はい。それでは私から、審議会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

委員の皆様におかれましては、令和3年11月の就任から早いもので、任期も残すところ3か月となりました。皆様には就任以来、全7回の会議へのご参加、審議にあたっては、たくさん資料に目を通され、多数のご意見、ご提案をいただき、誠にありがとうございます。また本橋会長におかれましては、会議の進行をはじめ、審議会の取りまとめにご尽力をいただいたことに厚く御礼申し上げます。

現在のところ、任期中に、審議会にご提案を予定しております議案はございませんので、本日の会議はこのメンバーでの最後の審議会になるかと思っております。この2年間に

は、環境基本計画の中間見直しや、エコオフィスアクションなど重要な計画の策定がございました。中でも環境基本計画の中間見直しにおきましては、本市がゼロカーボンシティを目指すにあたって、指針となります成田市地球温暖化対策実行計画区域施策編を取りまとめることができましたが、これもひとえに皆様のお力添えのおかげと思っております。

私どもといたしましては、今後とも皆様のご理解とご協力をいただきながら、本市の環境行政を推進してまいりたいと存じますので、引き続き本市の環境行政の推進にお力添えをいただければ幸いに存じます。

結びになります。皆様のますますのご活躍とご多幸を祈念申し上げまして、御礼のご挨拶をさせていただきます。本日はありがとうございました。

【中山委員】

会長すみません。最後に市にお願いをしたいのですがよろしいでしょうか。

【本橋会長】

はい。

【中山委員】

会長の許可を得ましたので一つお願いをしたいと思います。

すごくいい計画が出来てると思います。ものすごく大変な量のものを作られたのでものすごく苦勞されたと思うんですね。急に国が基準を上げてしまったりしてすごく大変だったと思うので、よく頑張っただけのものができたなと感心はしているんですけども、今までと同じようにやっていると、この目標になかなか達成しないのは皆さんもご存じのとおりだと思いますので、市におかれましては、ここに計画は一応立派なものができていると思うんですけども、そこでもっとグレードアップできる知恵を出し合って、この計画以上のものをやっていかないと多分達成できないんじゃないかと思います。市がやっても無理なので、市民にもっとやってもらわなくてははいけない。さっき、シュレッダーのゴミのことも、市の方が努力をして、交渉して、ビニール袋でいいようにしてくださったのを市民は誰も知らないという状況にあっては、市に協力のしようがないんですね。ですので市民に、先月の時も会長もおっしゃってました

けど、市民にどうやって理解をしてもらって協力してもらっていくかということに注力をしていただくということを、もっと市に積極的にやっていただければとお願いしたいと思います。

その一つの例として、例えばホームページに掲載しますというお答えでしたけれども、例えばお笑い芸人で清掃員をやっている滝沢秀一さんみたいな人を呼んで、市民にゴミに対して自分事として捉えてもらうような場を作るとか、AP バンクフェスのようにイベントモノにはリユース食器を使ってもらうように推進するとか、例えば成田市にお酒の酒蔵もありますし、カフェなどもありますから入れ物を持っていくと、そういう行動をとってもらってポイントが付与されて、得をするようなことでだんだん容器を減らしていく、容器って結局ゴミですよ。それを減らしていくという行動につなげていくような施策を、アイデアを出してどんどん具体化して行って、さすがゼロカーボンシティ宣言した市だよって言われるような成田市になっていっていただきたいということを、私は願っているんで、ぜひそこをお考えいただければなというふうに思いましたので、最後に一言お願いとして、言いたかったのでお時間いただきました。すみません、よろしくお願いいいたします。

**【環境計画課 加藤課長補佐】**

はい、ありがとうございます。中山委員から頂戴しましたご意見、ありがとうございます。今後の施策のほうの参考にして、市民にもっと取り組んでいただけるような施策を考えてまいりたいと思います。ありがとうございます。

それでは以上をもちまして本日予定しておりました議事全て終了いたしました。

これをもちまして、令和 5 年度第 2 回成田市環境審議会を閉会とさせていただきます。委員の皆様、本日はありがとうございました。